

今年の蟻高のぎんが祭、赫奕たるものにできましたか？

毎年、蟻高のぎんが祭が近づいてくると天気予報の雨マークが増えますが、今年も後夜祭は雨の危機を乗り越えましたね。雨との戦いという、天体観測も一緒です。例えば、午前二時に、望遠鏡を担いで、大げさな荷物を背負って、フミキリに集合して行うような本格的な天体観測でなくても、ふと夜空を見上げたりして、「久しぶりの皆既月食、ドキドキする」「シリウスってすごく明るいけど、絶対等級ではベテルギウスの方が明るいなだね」「あの星は、『イマ』というほうき星かな」とか思ったりすることが、雨が降るとできませんからね。もうすぐ七夕です。織姫(こと座のベガ)と彦星(わし座のアルタイル)が再会するあの日ですね。雨が降ると天の川が増水して、二人は会えないそうです。予想外の雨に打たれたらきっと泣き出しそうになりますね。その震える手も握り合えない…。さて、今年は会えるでしょうか。

冬の星座として有名なオリオン座の右肩で、赤赤と輝く星が一等星のベテルギウスですね。亦、同じくオリオン座の左膝辺りで青白く光る大きな星はリゲルです。ベテルギウスは超新星爆発を約10万年後には起こすのではないかと発表されているほど進化の進んだ恒星。ベテルギウスの爆発は、見られないでしょうが、皆さんの若々しい熱い青い颯のような爆風を、ぎんが祭で見せてもらいました。その勢いでテストへ向かっていきましょう。



わかっていることをあえて申し上げますが、3年生はここで切り替えですね。3年生とお話

しすると、もう気持ちを切り替えて受験に向かっている人も大勢います。一步目を早く踏み出しましょう。

困難、どんと来い！

ところで、前号で、「進路指導的な話をする、こういう未曾有の状況の中で、高校生である皆さんが、どんなことを考えて、どんな行動をしたのか、ということが大事です。(中略)皆さんが様々な困難をどう乗り越えたのか、ということ、進学先や就職先は求めてきます。」と書きました。ぎんが祭での各クラスの動画作成や廊下の壁の装飾、各係の業務、全体の運営など、コロナ対策を行いつつ準備を進めるのは簡単ではなかったはず。自分自身が他者と協働して、どれだけの経験値を積み重ねてレベルを上げたか、確認しておきましょう。

総合型選抜と学校推薦型選抜

進学希望者の総合型選抜の出願が9月から始まります。出願を検討している人は、既に担任と相談して準備をしていることと思います。入学者選抜要項がまだ出ていないところも多いですが、前年度のアドミッションポリシーを参考に、受験を乗り越える意志を固めましょう。

赤本、絶賛公開中

最近、進路資料室を訪れる3年生が増えていきます。「赤本とは何だ？」と一步目を踏み出してきた人がいたり、掃除終わりに見ていく人がいたり、お目当ての大学の赤本を探しに来ている人がいたり、様々です。問題と解答だけでなく、出題の傾向と対策が載っていますので、今後の問題演習計画を考えるのによいかと思います。新年度版の入荷はもう少し先になります。個人での購入の案内もしますので、第一志望校のものは買って手元に置いておくとよいか。